



Aids to Independent Living — self-help for the handicapped — (1st Ed.)

By Edward W. Lowman, et al.

本書は NYU のメンバーによって、身障者の自立生活を可能とする機器について、書かれ編集されたもので、著者らの 20 年の使用経験に耐え、極めて機能的に美しくデザインされた、商品や OT の手で作られる物等の、写真と図 1779 枚を中心にした、親しみ易く、現実的アイデアの豊富に詰った、教えられる事の多い、796 頁の大書である。

著者は ADL を広範にとらえ、その基本的動作を 65 に分類し、それを 9 つに整理した。

1. ADL の基本事項：摂食、トイレ、入浴、着衣の問題、クツ等の手入れが扱われる。
2. 移動：杖、車椅子等の問題解決法。
3. 家：設計、家具の配置、棚、階段等。
4. 調度、家具：イス、ベッド、テーブル等の各障害に合せた整理。
5. 家事：台所の整理、料理、掃除、洗濯、ベッドメーキング、育児。
6. コミュニケーションと職業：書見台、電話、書字、タイプ、ファイルボックス、スイッチ操作、合理的机上作業が扱われる。

7. リクレーション：カード、手芸、スポーツ、庭仕事、楽器。

8. 旅行：ガレージ、車操作、バス、タクシー等の交通機関の障害者への配慮。

9. 教育、言語、身障者組織：教育用機器、言語訓練身障者団体とその援助組織。

69 の各節の、初めにはそこで紹介される機器が障害者に合わせて作られるに到る問題の基本的扱い方の説明が加えられ、終りに文献があげられる。尚、機器の購入方法は、各図、写真毎に示されている。

巻末には各種疾患毎の文献がまとめられ、更に世界の定期刊行物約 150 種のリストと、会社毎の販売機器がまとめ上げられている。

どの 1 ページも極めて実用的であり、著者に限りない敬意を懐くと共に、この本が出現し得た組織的背景を考えずにはいられない。ともかく OT はもとよりハ関係者にとってこの上ない良書の 1 つであろう。

(McGraw-Hill Book Company)

(横浜市大病院リハ科、作業療法士 生田宗博)

Movement Fundamentals—figure, form, fun—(3rd Ed.)

By Janet A. Wessel

我々は PT として日常患者を扱うが、正常な人間の動作を扱うことも重要である。

この文献は正常な女子大学生の運動に関連した多くの問題について紹介している。

Wessel は運動様式の解剖学的、生理学的、心理学的あるいは社会的関係、加えて女子大学生の関心、習慣、興味、要求に対する科学的理解について広くて深い。

それとこの本は、彼女らの成人生活のすべての年代において、満足させ又楽しく送ることのできるよう運動動作の広い変化を紹介し、いかに肉体的機能を改善、維持するかを示すことによって運動能力の探求を導き理解することに貢献できる。内容を紹介しますと、

第 1 部 自身像と身体的可能性

1. 序文
2. 身体の部位の明細：身体的可能性の評価
3. 心理、社会的因子
4. 女性と競技

第 2 部 身体的可能性の発達

1. 身体の調整
2. 筋組織改善のための技術：筋の強さと耐久性
3. 弾性組織改善のための技術：動作の柔軟性と範囲

4. 器管組織改善のための技術：心血管呼吸器系の耐久性

5. 身体の動作における熟練作業の遂行

6. 労働と遊技の動作分析

第 3 部 個人のプログラム企画のための動作計画

1. 特殊調整プログラム
2. 運動と体重調整
3. 運動と図表による調整
4. 運動と弛緩
5. 運動と月経機能
6. 身体教育における個人的プログラムの計画と選択

第 4 部 各年代を通じての身体的可能性の維持

1. 運動と肥満
2. 心ゆくまでの運動
3. 運動とストレス
4. 年代を通じた動作パターン

以上が具体的内容である。

女性の運動を種々の面からとらえた興味ある本である。

(Prentice-Hall, Inc., Englewood Cliffs, New Jersey, 1970)

(高知リハビリテーション学院、理学療法士 馬場将夫)